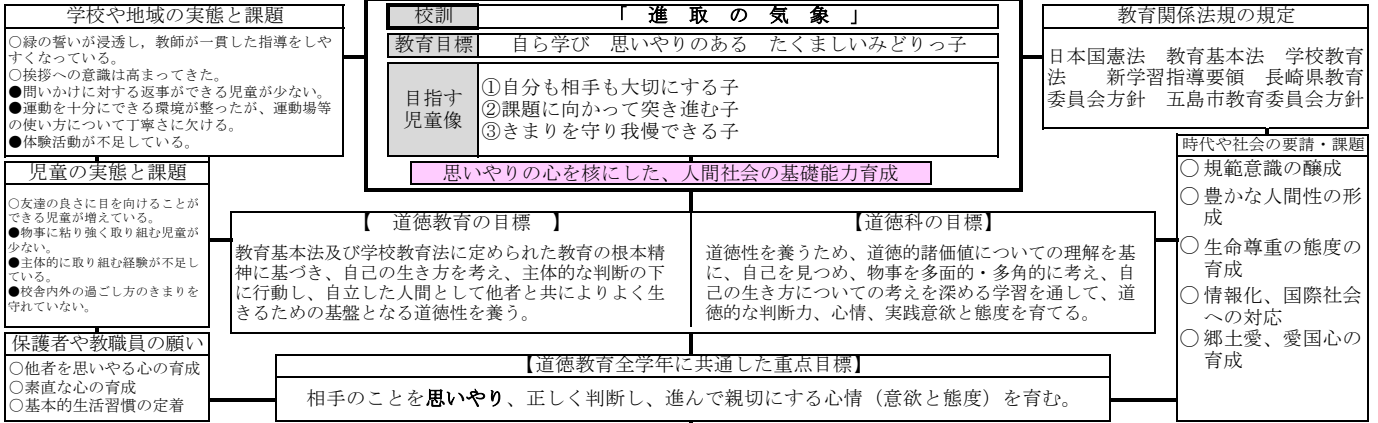


# 9 令和4年度 道徳教育全体計画

五島市立緑丘小学校



各学年の重点目標 (B主として人との関わりに関する)		
低学年	中学年	高学年
(6)身近にいる人に温かい心で接し、親切にする態度を育てる。	(6)相手のことを思いやり、進んで親切にする態度を育てる。	(7)誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする態度を育てる。

<b>国語</b> 国語で正確に理解したり、適切に表現したりする資質・能力を育成し、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養うこと及び言語感覚豊かにすることを通して、国語を尊重してその能力の向上を図り、我が国の伝統と文化を尊重し、国や郷土を愛する態度を育てる。	<b>特別の教科 道徳</b> 【発達段階に応じた重点内容】 《低学年》 (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 (6) 親切・思いやり (10) 規則の尊重 (17) 生命の尊さ 《中学年》 (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 (6) 親切・思いやり (11) 規則の尊重 (18) 生命の尊さ 《高学年》 (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 (7) 親切、思いやり (16) よりよい学校生活、集団生活の充実 (19) 生命の尊さ	<b>体育</b> 自己の課題の解決に向けて運動したり、集団で楽しくゲームを行ったりすることを通して、最後まで粘り強く取り組む、気持ちのよい挨拶をする、仲間と協力する、勝敗を受け入れる、フェアなプレイを大切に、仲間の考えや取組を理解するなどの態度を育てるとともに、健康・安全の理解を通して、生活習慣の大切さを知り、自己の生活を見直そうとする態度を育てる。
<b>社会</b> 地域及び我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解することや、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、国土と歴史に対する愛情を涵養し、我が国の伝統や文化を尊重し、郷土を愛する心を育てる。また、国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者としての自覚をもち、自他の人格を尊重し、社会的義務や責任を重んじ、公正に判断しようとする態度や能力などの公的資質の基礎的な形成を通して、集団や社会の一員としての自覚を高める。	<b>指導方針</b> 校内研究 指導の充実 1 体験活動を生かす。 2 他教科との関連をもたせた魅力的な教材の開発や活用を図る。 3 情報モラル指導の充実を図る。 4 児童生徒の学習の成果などを計画的に蓄積する。 指導の工夫 1 問題意識をもたせる導入 2 教材の提示 3 多面的・多角的に考えたり、自己を見つめたりすることができる発問 4 表現活動（書く） 5 考え、議論する道徳 6 学習の意義を実感できる評価	<b>外国語科</b> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、世界の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を育てる。 <b>外国語活動</b> 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、世界の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を育てる。
<b>算数</b> 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち、筋道を立てて考えることを通じて、道徳的判断力を育てるとともに、算数で学んだことを活用し、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てる。		<b>総合的な学習の時間</b> 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通じて、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく資質能力を養うとともに、現代社会の課題に積極的取り組み、探求課題の解決を通して、主体的に判断して学習を進めたり、粘り強く考え解決しようしたり、自己の目標を実現しようしたり、他者と協調して生活しようとする態度を育てる。
<b>理科</b> 体験活動を通して、自然を愛する心情を育てることを通じて、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度の育成をするとともに、見通しをもって観察・実験を行うことや、問題解決の力を育て、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育てる。		<b>特別活動</b> 集団活動を通して、多様な他者の意見を尊重しようとする態度、自己の役割や責任を果たして生活しようとする態度、よりよい人間関係を形成しようとする態度、みんなのために進んで働こうとする態度、自分たちできまりや約束をつくって守ろうとする態度、目標を持って諸問題を解決しようとする態度、自己のよさや可能性を大切に集団活動を行おうとする態度や道徳性を育てる。
<b>生活</b> 自分自身、身近な人々、社会及び自然と直接関わる活動や体験を通して、自然に親しみ、生命を大切にすることや自然との関わりに関心をもつこと、自分のよさや可能性に気付くなど自分自身について考えさせること、生活上のきまり、言葉遣い、振る舞いなど生活上必要な生活習慣を身に付けることを通じて、自立した生活を豊かにしていこうとする態度を育てる。		<b>生活指導</b> ○日常生活全体を通して、基本的な生活習慣、礼儀等の生活上の約束、社会生活にかかわる決まりを身につけさせるとともに、集団や社会の一員として自覚をもって行動しようとする態度を育てる。 ○教師と児童、児童相互の人間関係を豊かにし、信頼と尊敬、助け合いと思いやり、協力や感謝の心などを育てる。
<b>音楽</b> 音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を通して、美しいものや崇高なものを尊重する心を養うとともに、共通教材の学びを通して、我が国の伝統や文化、自然や四季の美しさや、夢や希望をもって生きることの大切さなどを感得させ、豊かな情操により道徳性の基盤を養う。		
<b>図工</b> つくり出す喜びの味わいを通して、美しいものや崇高なものを尊重する心を育てるとともに、造形的な創造による情操により道徳性の基盤を養う。		
<b>家庭</b> 日常生活に必要な知識や技能を身に付け、生活をよりよくしようとする資質や能力を育てたり、生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直したりするとともに、家族を敬愛し、楽しい家庭をつくり、家族の役に立とうとする態度を育てる。		

<b>環境整備</b> 清潔で、整理整頓された落ち着いた生活環境を確立する。学校生活において、人格を尊重した望ましい言語環境を確立する。	<b>家庭・地域との連携</b> 道徳教育に対する相互理解を深め、基本的な生活習慣の確立や規範意識などの基本的な倫理観の形成、道徳実践の指導に関わって互いに役割を果たす。	<b>特別支援教育</b> インクルーシブ教育の視点から一人一人の個性を理解・尊重し、すべての児童が、安全・安心して学べる環境を考える。
土台		